



第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会  
ランチョンセミナー 1

座長

久保 俊一 先生

京都府立医科大学大学院 運動器機能再生外科学 教授

演者

田島 文博 先生

和歌山県立医科大学 リハビリテーション医学講座 教授  
文部科学省認定 障がい者スポーツ研究拠点  
みらい医療推進センター センター長



# 障害者の 運動生理学上の 特質

健康寿命延伸のための  
運動指導でも応用出来る知見

日時

2017年 9月 8日(金)  
12:30~13:30

会場

シーガイア  
コンベンションセンター  
4F 天瑞

宮崎県宮崎市山崎町浜山  
Tel: 0985-21-1111

【認定単位】

日本整形外科学会専門医資格継続単位

【必須単位】

8. 神経・筋疾患  
(末梢神経麻痺を含む)

13. リハビリテーション  
(理学療法、義肢装具を含む)

教育研修会  
運動器リハビリテーション単位 (Re)

いずれか  
1単位

日本手外科学会教育研修講演 1単位

日本リハビリテーション医学会生涯教育研修会単位  
10単位 (日本専門医機構専門医1単位)

共催

第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会  
三笠製薬株式会社

# 障害者の 運動生理学上の 特質

健康寿命延伸のための  
運動指導でも応用出来る知見

過去30年以上にわたる障がい者スポーツを対象とした研究の結果、メディカルチェックを行った上で高強度・長時間のトレーニングを行えば、健康になり、機能改善が見込めることが明らかになってきた。何よりも、障害があっても、スポーツを通じて精神と肉体を鍛え上げ、最高のパフォーマンスを発揮する姿は、我々に感動を与えてくれる。

スポーツにおける勝利者の必要条件は十分な練習時間の確保である。まずは、量、そこから質を上げていく。この数年、われわれが見てきた日本の障がい者スポーツアスリートは諸外国に比べ、フィジカルがあまりにも弱い。走り負け、当たり前でない身体をいかにしてつくるかが課題だが、選手だけの努力では限界に来ている。選手を鍛え上げるには、経験と知識のあるコーチが指導する体制を早急に構築しなければならない。指導現場と研究現場の力を合わせなければならない。

しかし、我々は障がい者を健常者と、全く同じように練習させる事が理想であるとは考えられない。健常者でも男女を分けてパフォーマンスを競うが、障がい者スポーツにはクラス分けという特徴がある。つまり、すべて健常者と障がい者を同じ医科学サポートやトレーニングをすることは、健常者スポーツで男女と一緒にするのと同じくらい合理的ではない。共通した点と違いを明確にし、施設を初めとしたハードから、コーチやトレーナー等のソフトにいたるまで、適切に配分配置すれば相互の発展に寄与するはずである。

したがって、我々は提言したい。生理学的な側面而言えば、障がい者は健常者と体温調節、循環器系の応答、呼吸機能などで異なる。医学的側面では、脊損者の褥瘡の問題、脳性麻痺者の痙性、切断者の断端部、等々、障がい者の特質はいくらでもあげられる。

我々の過去の研究では、すべての障がい者に対してスポーツをすることを推奨する結果ばかりでている。だからこそ、包括的に、しかし、違いを明確にして、障がい者アスリートの競技力の向上と安全性の確保に尽力する必要がある。

そして、これらの知見は、日本が抱える健康寿命の延伸に応用出来る知見となる。

## 演者



た じま ふみ ひろ

## 田島 文博

和歌山県立医科大学  
リハビリテーション医学講座 教授

文部科学省認定  
障がい者スポーツ研究拠点  
みらい医療推進センター センター長

### 学歴・職歴

- 1984年 産業医科大学医学部医学科卒業 同リハビリテーション科研修医
- 1990年 同 大学院博士課程卒業、医学博士、リハビリテーション医学教室助手
- 1991年 リハビリテーション科専門医
- 1992年 ニューヨーク州立大学バッファロー校医学部  
リハビリテーション科Buswell fellow (Assistant Professor相当)
- 1994年 産業医科大学リハビリテーション医学教室講師に復帰
- 2000年 浜松医科大学医学部附属病院リハビリテーション部助教授
- 2003年 和歌山県立医科大学リハビリテーション医学教授
- 2008年 和歌山県立医科大学スポーツ・温泉医学研究所所長 兼任
- 2009年 文部科学省先端科学研究所指定  
和歌山県立医科大学げんき開発研究所所長 兼任
- 2014年 和歌山県立医科大学附属病院副院長 兼任  
文部科学省認定 障害者スポーツ医学研究拠点  
和歌山県立医科大学みらい医療推進センター センター長 兼任

### 学術活動

- 日本リハビリテーション医学会評議員・役員
- 日本脊髄障害医学会常任理事(第46回学術集会会長)
- 日本障害者スポーツ学会副理事長
- 日本運動器科学会理事、末梢神経学会理事
- 日本体力医学会第70回学術集会会長

### 専門

- リハビリテーション一般
- 研究分野は高齢者、脳血管障害、脊髄損傷のリハビリテーション、地域医療、温泉医学。

### 社会的活動

- 一般社団法人和歌山県医師会理事。公益財団法人日本障がい者スポーツ協会医学委員会副委員長。
- 同メディカルチェック委員会委員長。特に障害者スポーツの普及発展に努めている。